

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立到津ひまわり学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉北区下到津一丁目8番8号		
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ ☒ 無	ペナルティ制 有・ ☒ 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		児童発達支援センターの管理運営。 施設の維持管理。		
指定期間		令和3年4月1日～令和10年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点		
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		45		
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20		
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
障害児通所支援	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
定員	50名	50名	50名	50名	50名	50名
利用者数	59名	57名	57名	58名	57名	58名
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）						
① ・発達障害児の支援ニーズに対応するため、可能な限りの利用者の受け入れを行い、一人でも多く支援が行き届くよう障害児通園支援の体制を維持している。 ・通園バス2台体制による運行で利用者の利便性を高めており、保護者の状況に応じて極力自宅近くで乗降できるよう配慮することで負担軽減を図っている。						
外来相談	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	180件	180件	100件	100件	60件	60件
実績	176件	99件	84件	58件	63件	57件
※外来相談は、令和5年度途中から実施方法を見直し、個別相談から2～3名のグループ相談に変更している。						
短時間通園	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	1,650件	1,650件	1,650件	1,650件	1,650件	1,650件
実績	1,142件	1,641件	1,560件	1,588件	1,659件	1,389件
保育所等訪問支援	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	160件	160件	160件	160件	160件	160件
実績	127件	127件	142件	144件	177件	207件
・外来相談は減少しているが、これは保護者の希望による保育所や幼稚園等へ来園支援を行う保育所等訪問支援が増加したためであり、地域の児童発達支援事業の中核である児童発達支援センターとしての役割を果たしている。 ・短時間通園は、登録人数の減少により目標値を下回ったが、発達段階、実年齢によ						

- り11グループに編成し、保護者と一緒に子どもの特性を共有ながら、困っていることへの相談や対応など手厚い支援を行っている。
- ②・児童発達支援センターの認知度を高めるため、大学等の学生向けのパワーポイントを作成し、他障害児者施設職員と合同で周知を図っている。
- ・園の道路沿いに面した窓ガラスに「世界自閉症啓発デー」などのポスターを掲示し、近隣の方への周知を図っている。
- ③・利用者に対してもサービスの計画を明確に示しており、個々の特性に合わせた支援を行っている。また、子どもの発達に関する説明や子どもの療育に関する目標、目的、方針などの説明を行っている。
- ・家族の支援について、保護者勉強会を令和7年度は7回開催している。内容は年度当初に保護者会で学習したい内容の希望を取り、調整のうえ、それに合わせて講師を招くなど、可能な限り興味・関心の高い内容を実施している。

==「施設の設置目的の達成」に関する評価まとめ==

- ・発達障害児への高い通所支援のニーズにおける積極的な受け入れや、利用者の個々の状況に合わせた柔軟な対応などの取組みは、高く評価できる。
- ・また、短時間通園や外来相談の令和7年度実績は目標値に達していないが、保育所等訪問支援の実績は、目標値を超える件数を維持しており、施設の設置目的を十分に達成していることから、評価「4」とする。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

25

5

25

【評価の理由、要因・原因分析】

	【参考】R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
満足度平均	98%	99%	99%	96%	98%	99%
スタッフ待遇	99%	100%	99%	98%	99%	100%
情報提供	99%	99%	99%	95%	100%	100%
サービス内容	97%	97%	97%	95%	98%	99%
施設関係	98%	100%	98%	98%	97%	100%
緊急時	100%	100%	100%	94%	98%	100%

- ①・アンケート調査の結果について、満足度平均が99%と利用者の満足度は非常に高いものとなっている。
・「こどもに居場所ができました。毎日本当に嬉しくて楽しそうで、私は救われました。」や「いつも親切にしてくださる先生方ばかりで感謝です。ありがとうございます。」といった感謝の声が多く寄せられており、利用者の満足度の高さがうかがえる。
- ②・厚生労働省の児童発達支援ガイドラインに基づいてアンケートを実施しており、アンケート結果については、職員間で協議し実施可能なものから取り組んでいる。
・意見箱の設置や個人及びクラス懇談会、父母の会総会、役員会、活動報告会などを通じて保護者から意見や要望など聞く機会を設けて、毎日の朝礼や月1回の職員会議と指導会議で情報の共有を図り、要望や相談などについて速やかに対応するようにしている。
- ③・苦情に対しては、契約時に受付手順の説明や解決責任者の掲示をし、苦情があった場合には速やかな対応を行うよう努めている。
- ④・保護者への情報提供として、ホームページ（ブログ）更新（年26回）し、更新した際は携帯アプリ「コドモン」で保護者に周知している。また、毎月「園だより」を発行し、グループ活動のお知らせを年10回発行している。
- ⑤・外部講師を招いてのミュージックケアを令和7年度は、各クラス2回、計10回実施に加えて、職員により日常の活動や行事でもわらべうたなどを実施している。
- ⑥・例年、家族の参加を促進するため、父親や兄弟が参加しやすい土曜日に行事（運動会・夏のお楽しみ会、保育参観など）を開催している。令和7年度は、夏のお楽しみ会を親子参加で実施、運動会は全園児で午前中のみの実施、遊ぶの会は二日間に分けて実施、保育参観は土曜日にクラスを分けて実施している。
・社会参加のため、到津の森公園、山田緑地、もりのいえ、関門海峡ミュージアムなど公園・公共施設への親子遠足や、小池学園での芋掘り体験などを行っている。
・家族の支援について、家庭訪問や懇談会、給食試食会、そのほか保護者勉強会を開催。就学に向けた支援としては、保護者への説明会と学校見学、保育所等訪問支援を利用する保護者との懇談会による情報共有などを実施している。
・園独自のアンケート実施や意見箱の設置、従来からの連絡帳での保護者との日々の情報交換に加え、携帯アプリ「コドモン」の活用を取り入れたことでお知らせや行事の出欠等が迅速になり、利便性の向上に努めている。

== 「利用者の満足度」に関する評価まとめ ==

- ・アンケート結果の「よい」、「まあまあよい」を合わせた割合は、目標値（90%）を大きく超えて平均99%と、利用者の満足度は非常に高く、評価「5」とする。

2 効率性の向上等に関する取組み	15		9
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	15	3	9
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理			

者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
消費電力	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
実績	33,058kwh	31,337kwh	31,864kwh	29,365kwh	30,487kwh	29,400kwh
水道光熱費	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
実績	1,916 千円	1,937 千円	1,954 千円	1,632 千円	1,826 千円	1,790 千円
①・障害のある児童にとっては、天候の違いや温度変化などの環境変化にすぐに適応することが難しい場合などあり、特に夏季においては熱中症防止のため室温の上昇には特に注意する必要がある。経費削減に向けた取組みの効果がなかなか出ないこともあるが、こまめに温度調節や電源の切入を徹底している。						
②・清掃、設備保守点検等については、福祉事業団が一括契約を行うことで、経費の低減が図られており、業務は適切に行われている。						
== 「経費の低減等」に関する評価まとめ ==						
・節水・節電の取組みにより、水道光熱費は前年度と同程度を維持している。						
・指定管理者の一括契約等による経費節減や、節水・節電意識の高める取り組みを行っている。						
・以上の状況から、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。						
(2) 収入の増加						
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。		—	—	—		
[評価の理由、要因・原因分析]						
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み		3 5				2 1
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況						
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。		1 5	3			9
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われていたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
①・人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。						

- ②・職場内研修（新人・救命救急・人権など）実施や、職場外研修（業務・階層別など）及び自主研修など、職員の資質向上に努めている。また、指定管理者は複数の児童発達支援センターを運営しており、同法人の施設間で研修を行い、職員間の情報共有とスキルアップに取り組んでいる。
- ③・保育所・幼稚園・特別支援学校・市民センターとの交流や、保育所への講師派遣など地域との交流や連携に努めている。
- ・夏のお楽しみ会や運動会の際、各学校からの実習生やボランティアの受入れを実施している。

==「施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況」に関する評価まとめ==

- ・研修等による人材育成や職員の派遣等による地域連携を積極的に実施しており、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。	20	3	12
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

〔評価の理由、要因・原因分析〕

- ①・「事業団個人情報規定」「個人情報保護方針」に基づき管理徹底を行っている。
- ②・人権の尊重や身体拘束及び体罰の防止に向けて、「園児との接し方チェックリスト」を作成し、毎月クラス毎に態度や対応などの相互評価を実施している。
- ・人権研修の実施や児童虐待対応リーダー養成研修に参加、虐待防止委員会と身体拘束等防止委員会をそれぞれ年2回実施するなど、人権の尊重、身体拘束及び体罰等の防止に努めている。
- ⑤・遊具・設備を月一回点検するほか、「ヒヤリハット」を毎日朝礼で報告して対応を検討し、2ヵ月後にはその対応の検証を行っている。
- ⑥・防犯対策として、小倉北警察署指導による不審者対応訓練及び園児の避難誘導訓練を実施しており、また防犯カメラの設置や扉等の施錠の徹底など、防犯対策強化の取組みを行っている。
- ・様々な事態を想定した避難訓練（火災：毎月、地震：年2回、竜巻：年1回、水害：

年1回、バス事故：年4回）を実施し、危機管理体制として、施設と事務局間で災害時の緊急連絡網、動員計画を作成している。

- ⑦・消毒液を玄関やトイレと各部屋に設置して消毒や手洗いを励行し、食中毒防止のため衛生管理に努めている。
 - ・感染症発生時には「感染防止マニュアル」に従い速やかに対応するとともに、保護者に対して文書で知らせている。
- ⑧・令和7年度は、通園バスに関して運行中のインシデントが確認されたため、「通園バス運行時の安全マニュアル」に従い、利用者への安全対応や関係各所への報告が適切になされていた。また、再発防止策も策定され、確実に実施されている。

==「平等利用、安全対策、危機管理体制など」に関する評価まとめ==

- ・利用者の安全確保、防災対策、個人情報保護等、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。

【総合評価】

合計得点	75	評価ランク	B
【評価の理由】 ・事業計画に沿って、施設の適切な運営管理に取り組んでおり、利用者の満足度も非常に高いものとなっている。利用者に対してもサービスの計画を明確に示しており、個々の特性に合わせた支援を行っている。 ・アンケート結果では、スタッフの保護者に対する言葉遣いや問い合わせ対応、児童への声かけなどが特に高く評価されており、スタッフの児童や保護者に対する接遇の質が高いことがわかる。また、子どもの発達に関する説明や子どもの療育に関する目標、目的、方針などの説明も高く評価されている。 ・発達に遅れや障害がある子どもたちの保護者は、漠然とした将来への不安や育児の悩みを抱えており、その悩みや不安に対して、寄り添い、きめ細かいサポートを行っていることが、利用者の高い満足度につながっていると判断される。 ・職員の資質及び能力向上のための研修実施、情報管理の徹底、施設管理や節減対応などに努めている。 ・地域の学校や市民センターとの交流、職員派遣による支援や実習生の受入れなど、地域との交流活動や支援など活発に行っている。 ・インフルエンザなどの感染予防を図りつつ、日常の事故防止や安全対策にも取り組み、質の高いサービスの提供を継続している。 【今後の対応】 ・施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、家族への支援や地域及び関係機関との連携を積極的に行うなど、今後も地域における質の高い障害児支援に取り組むことを期待する。 ・近年、児童発達支援事業のニーズが増加しており、特に児童発達支援センターはどの施設も定員を超過している現状である。地域の保育所等訪問による専門的助言や、地域の小規模事業所への助言や支援を行うなど、児童発達支援の中核施設として機能を発揮することを期待する。			

- ・到津ひまわり学園の分析だけでなく、地域の支援体制に対しての分析も実施しており、地域の障害児支援の中核施設として問題意識をもって取り組んでいることがわかる。地域の抱える障害児支援の問題に対して、地域と連携して解決していくことを期待する。

〔北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見〕

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立若松ひまわり学園	施設類型	目的・機能		
			I	— ⑦		
	所 在 地	北九州市若松区原町12番34号				
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。				
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制				
		インセンティブ制 有・無	ペナルティ制 有・無			
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団				
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号				
指定管理業務の内容		児童発達支援センターの管理運営。 施設の維持管理。				
指定期間		令和3年4月1日～令和10年3月31日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点		
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		45		
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20		
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
障害児通所支援	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
定員	30名	30名	30名	30名	30名	30名
利用者数	35名	35名	35名	35名	35名	35名
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）						
① ・発達障害児の支援ニーズに対応するため、可能な限りの利用者の受け入れを行うとともに、退園による欠員発生時には途中入園を受け入れ、一人でも多く支援が行き届くよう障害児通園支援の体制を維持している。						
・保護者の利便性を考慮し、受け入れ時間を早めて園児を受け入れたり、降園時間後も可能な範囲で迎えに来られる時間まで預かったりすることで、利用者の個々に状況に合わせて対応している。						
外来相談	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	200件	160件	160件	160件	80件	60件
実績	219件	148件	138件	98件	71件	52件
※外来相談は、令和5年度途中から実施方法を見直し、個別相談から2～3名のグループ相談に変更している。						
短時間通園	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	1,000件	1,300件	1,300件	1,300件	1,300件	1,300件
実績	1,129件	1,606件	1,833件	1,812件	1,673件	1,515件
保育所等訪問支援	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	100件	110件	110件	110件	110件	110件
実績	118件	157件	286件	306件	248件	207件
・外来相談は減少しているが、これは保護者の希望による保育所や幼稚園等へ来園支援を行う保育所等訪問支援が増加したためであり、地域の児童発達支援事業の中核である児童発達支援センターとしての役割を果たしている。						

- ・短時間通園は、目標値を超える件数で推移しており、在宅や保育所や幼稚園等に通っている発達に特徴のある子どもの療育支援を可能な限り行っている。
- ②・学園の様子を地域住民に知ってもらうための広報誌（年3回）の配布のほか、ホームページの更新（年32回）を行い、情報発信に努めている。
- ・園の道路沿いの掲示板に「自閉症啓発デー」「国際車いすバスケットボール大会」などのポスターや、園での行事や子どもの制作品を掲示し、地域の方に福祉の情報に加え、誰が見ても楽しめるように園の広報を行っている。
- ③・利用者に対してもサービスの計画を明確に示しており、個々の特性に合わせた支援を行っている。また、利用者に対してもサービスの計画を明確に示しており、個々の特性に合わせた支援を行っている。また、子どもの発達に関する説明や子どもの療育に関する目標、目的、方針などの説明を行っている。
- ・家族の支援について、保護者勉強会を令和7年度は7回開催している。内容は年度当初に保護者会から学習したい内容の希望をもらい、それに合わせた講師を招いている。

==「施設の設置目的の達成」に関する評価まとめ==

- ・発達障害児への高い通所支援のニーズにおける積極的な受け入れや、利用者の個々の状況に合わせた柔軟な対応などの取組みは高く評価できる。
- ・また、外来相談の令和7年度実績は目標値に達していないが、保育所等訪問支援や短時間通園の実績は目標値を超える件数を維持しており、施設の設置目的を十分に達成していることから、評価「4」とする。

（２）利用者の満足度

- | | | | |
|--|----|---|----|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 25 | 5 | 25 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | | | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | | | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | |
| ⑤ 利用者の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。 | | | |
| ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
満足度平均	98%	99%	99%	97%	100%	99%
スタッフ待遇	98%	100%	96%	98%	100%	100%
情報提供	98%	100%	100%	98%	100%	100%
サービス内容	97%	98%	98%	96%	100%	99%

施設関係	99%	100%	100%	100%	100%	100%
緊急時	100%	100%	100%	94%	100%	100%

- ①・アンケート調査の結果について、満足度平均が99%と総合的に利用者の満足度は非常に高いものとなっている。
- ・「いつもありがとうございます。とても丁寧に対応していただき助かっております。」や「先生方には、本当に良くしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。」といった感謝の声が多く寄せられており、利用者の満足度の高さがうかがえる。
- ②・保護者から「子どもの将来を見据えた施設」という希望により見学を実施し、見学した保護者からは、「子どもの将来を考える良い機会になった」などの意見があっている。
- ③・重要事項説明書に明示し、契約時や保護者オリエンテーションにて口頭で説明している。令和7年度は年間を通じて苦情は出ていない。
- ④・家族への情報提供として、毎月「園だより」「献立」を携帯アプリのコドモンを通じて配信している。
- ・各家庭に、概ね毎月1回、ホームプログラムを提出し、家庭でも取り組める課題を提供することで、親子で達成感を味わいながら家庭療育ができるようにしている。
 - ・卒園後の就学に向けた支援として、保護者への説明会を開催し、令和7年度は11校の学校見学や学校への引き継ぎなど実施している。
- ⑥・家庭訪問のほか、個人懇談（年3回）、クラス懇談会（年2回）を行っている。
- ・家族の参加を促進するため、父親や兄弟が参加しやすい土曜日に行事（運動会・保育参観）を開催している。令和7年度は、運動会を午前中は年中少・年長児、午後は年長児の2回に分けて土曜日に開催している。また、保育参観は、保護者に学園での療育の様子をゆっくり見てもらうために、クラス活動及びグループ活動をそれぞれ2回に分けて土曜日に行っている。
 - ・園独自のアンケート実施や意見箱の設置、従来からの連絡帳での保護者との日々の情報交換に加え、携帯アプリ「コドモン」の活用を取り入れたことで、お知らせや行事の出欠等が迅速になり、利便性の向上に努めている。

== 「利用者の満足度」に関する評価まとめ ==

- ・アンケート結果の「よい」、「まあまあよい」を合わせた割合は、目標値（90%）を大きく超えて平均99%と、利用者の満足度は非常に高く、評価「5」とする。

2 効率性の向上等に関する取組み	15		9
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	15	3	9
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]						
消費電力	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
実績	21,141kwh	18,552kwh	19,527kwh	17,644kwh	19,608kwh	19,474kwh
水道光熱費	参考]R2(更新前)	R3	R4	R5	R6	R7
実績	1,487 千円	1,234 千円	1,232 千円	1,066 千円	1,198 千円	1,195 千円
①・障害のある児童にとっては、天候の違いや温度変化などの環境変化にすぐに適応することが難しい場合などあり、特に夏季においては熱中症防止のため室温の上昇には特に注意する必要がある。経費削減に向けた取組みの効果がなかなか出ないこともあるが、こまめに温度調節や電源の切入を徹底している。 ②・清掃、設備保守点検等については、福祉事業団が一括契約を行うことで、経費の低減が図られており、業務は適切に行われている。 == 「経費の低減等」に関する評価まとめ == ・節水・節電の取組みにより、水道光熱費は前年度と同程度を維持している。 ・指定管理者の一括契約等による経費節減や、節水・節電意識の高める取り組みを行っている。 ・以上の状況から、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。						
(2) 収入の増加						
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。				—	—	—
[評価の理由、要因・原因分析]						
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				3 5		2 1
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況						
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。				1 5	3	9
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われていたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
①・人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。						
②・職場内研修（新人・救命救急・人権など）実施や、職場外研修（業務・階層別など）及び自主研修など、職員の資質向上に努めている。また、指定管理者は複数の児童発達支援センターを運営しており、同法人の施設間で研修を行い、職員間の情報共						

有とスキルアップに取り組んでいる。			
③・地域への支援として、保育所や幼稚園職員への勉強会の開催、区役所主催の行事への職員の派遣など行っている。			
・同年齢の子ども達との交流を図るため、深町どんぐりの森保育所との交流を行っている。			
・令和7年度は、「おひさまのいえ」や「子どもの館」「子育て交流プラザ 元気のもり」などを利用し、園外保育を行っている。			
==「施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況」に関する評価まとめ==			
・研修等による人材育成や職員の派遣等による地域連携を積極的に実施しており、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。	20	3	12
② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
①・「事業団個人情報規定」「個人情報保護方針」に基づき管理徹底を行っている。			
②・人権の尊重や身体拘束及び体罰の防止に向けて、「園児との接し方チェックリスト」を作成し、毎月クラス毎に態度や対応などの相互評価を実施している。			
・人権研修の実施や児童虐待対応リーダー養成研修に参加、虐待防止委員会と身体拘束等防止委員会をそれぞれ年2回実施するなど、人権の尊重、身体拘束及び体罰等の防止に努めている。			
⑤・遊具や設備の点検を毎日実施。事故防止に向けて「ヒヤリハット」を毎日朝礼で報告し、その場で対応を検討している。			
⑥・防犯対策として、若松警察署指導による不審者対応避難訓練を実施している。			
・若松消防署協力による総合避難訓練の実施（年1回）。また、様々な事態を想定した避難訓練（火災：毎月、地震：年2回、竜巻：年1回、バス事故：年4回、不審者：年3回）を実施し、危機管理体制として、施設と事務局間で災害時の緊急連絡網、動員計画を作成している。			

⑦・園児、職員とも手洗い、消毒を随時行っている。また、各感染症予防のため手指の消毒液を玄関に設置している。

- ・感染症発生時には「感染防止マニュアル」に従い、速やかに対応するとともに、保護者にも携帯アプリ「コドモン」などを活用し、現在の感染者数を知らせて感染の予防に努めている。

== 「平等利用、安全対策、危機管理体制など」に関する評価まとめ ==

- ・利用者の安全確保、防災対策、個人情報保護等、市の求める一定の水準を満たしているため、評価「3」とする。

【総合評価】

合計得点	75	評価ランク	B
[評価の理由] ・事業計画に沿って、施設の適切な運営管理に取り組んでおり、利用者の満足度も非常に高いものとなっている。利用者に対してもサービスの計画を明確に示しており、個々の特性に合わせた支援を行っている。 ・利用者へのサービスの質の維持・向上に努めるだけでなく、情報提供や就学への援助、勉強会・懇談会の実施など家族への様々な支援を行っている。発達に遅れや障害がある子どもたちの保護者は、漠然とした将来への不安や育児の悩みを抱えており、その悩みや不安に対して、寄り添い、きめ細かいサポートを行っていることが、利用者の高い満足度につながっている。 ・職員の資質及び能力向上のための研修実施、情報管理の徹底、施設管理や節減対応などに努めている。 ・地域の保育所や学校との交流や職員派遣による支援など、地域との交流活動や支援など活発に行っている。 ・インフルエンザなどの感染予防を図りつつ、日常の事故防止や安全対策にも取り組み、質の高いサービスの提供を継続している。 [今後の対応] ・施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、家族への支援や地域及び関係機関との連携を積極的に行うなど、今後も地域における質の高い障害児支援に取り組むことを期待する。 ・近年、児童発達支援事業のニーズが増加しており、特に児童発達支援センターはどの施設も定員を超過している現状である。地域の保育所等訪問による専門的助言や、地域の小規模事業所への助言や支援を行うなど、児童発達支援の中核施設として機能を発揮することを期待する。 ・若松ひまわり学園の分析だけでなく、地域の支援体制に対しての分析も実施しており、地域の障害児支援の中核施設として問題意識をもって取り組んでいることがわかる。地域の抱える障害児支援の問題に対して、地域と連携して解決していくことを期待する。			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

通園バスに関するインシデントは、引き続き再発防止策を確実に履行し、今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 門司障害者地域活動センター	施設類型	I	目的・機能	⑦
	所 在 地	北九州市門司区大字畑1808番地				
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。				
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制				
		インセンティブ制 有・ ☒ 無		ペナルティ制 有・ ☒ 無		
指定管理者	名 称	社会福祉法人あすなろ学園				
	所 在 地	北九州市小倉南区大字新道寺1100-1				
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（施設入所支援、生活介護、就労継続支援（B型））の管理運営				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点		
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		40		
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20		
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
【利用率】 (単位：％)						
年度	【参考】R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	100	100	100	100	100	100
実績	84.3	86.7	83.7	86.3	85.4	86.3
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）						
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）						
①③・利用率は僅かながら増加し、高い利用率を維持している。利用者家族の多様なニーズに対応すべく、多機能型施設の特徴を最大限活用し、日中一時支援と短期入所を受け入れている。事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービスに努めている。						
①・施設入所支援について、重度の方も在籍しており、利用者の障害を理解した上で本人の意思を確認するとともに、利用者の特性に応じてコミュニケーションカードやジェスチャー等を用いて視覚的な支援を行うことで、利用者が混乱することなく落ち着いて過ごせるよう意思疎通の支援に取り組んでいる。						
・生活介護について、リサイクル空き缶プレス、季節に応じた作品作り等の創作活動や園芸・収穫体験などの通常活動に加え、レクリエーション活動の一環としてミニクッキングや買い物体験や、選択肢の中から行き先を選んで外出するレジャーガイドを実施するなど、センターに来所する楽しみや日中活動の充実に繋げた。						
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】					(単位：円)	
年度	【参考】R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	15,000	9,200	9,500	9,800	11,000	11,300
実績	8,219	9,498	8,000	9,600	9,410	10,549
・就労継続支援B型事業所について、白野江植物公園や門司赤煉瓦倶楽部の花壇管理の業務を委託されている。地元企業との連携による業務委託の新規開拓（外溝清掃）						

や、利用者のアイデアを活かした新商品の開発に取り組んでいる。農園芸においては、野菜や花の苗の生産への継続的な取り組み、スーパー等への販路拡大などを行い、作業の確保及び工賃確保に努めている。また、材料費等の高騰が続く中、施設で生産するオリジナル商品の改良を重ね、適切な価格設定等により目標工賃に近づけるよう努めている。

- ②・広報誌の発行（年間3回から6回へ増）やSNS（インスタグラム）への掲載を実施したほか、地域イベント等への参加を積極的に行い、センターの取り組みや活動内容（農園芸商品、門司活祭り）を地域に紹介している。
 - ・地元の大学や専門学校からの実習生15名や、特別支援学校からの見学者13名を受け入れ、大学等卒業生の地元定着の一環や特別支援学校高等部卒業後の進路の一つとして、障害福祉施設の紹介に取り組んでいる。
- ③・利用者の送迎については、各家庭に送迎の希望調査を行い、送迎時間や送迎場所への要望、短期入所先の事業所への送迎など、家庭の状況や意向に寄り添いながら利便性の向上を図っている。

（２）利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

25

4

20

【評価の理由、要因・原因分析】

施設の総合評価

【満足度】

（単位：％）

年度	【参考】R2年度 （更新前）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実績（入所）	89.3	89.2	86.6	94.9	93.5	87.7
実績（生活介護）	78.1	86.6	85.1	80.2	78.5	87.7
実績（就労支援）	90.2	89.2	83.9	91.5	88.0	88.0

- ①・北九州市が実施したアンケートの結果、施設の各サービスの、「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、87.8％（入所者87.7％、生活介護87.7％、就労支援88.0％）であり、全体として利用者の満足度は高いものとなっている。
- ②・行事等の実施にあたっては、年間行事のニーズ調査の実施や、利用者も企画等に参加できるようにしている。
- ③・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、苦情解決委員会を定期的（年4回）に開催し、内容を的確に把握するとともに、第三者委員からの意見や助言を

踏まえながら苦情解決に対応している。						
④・毎月の予定表の配付等のほか、家族役員会への参加、家族懇談会の開催、通所利用者との連絡帳による各種お知らせ情報提供を実施しており、緊急時の連絡網も整備されている。						
⑤・利用者のアート活動（クラブ活動）として、2カ月に1回、染織作家による作品制作の指導を受け、絹糸を使ったデザイン制作を行ったほか、音楽ボランティアグループ「百瀬ミュージック」による音楽療法を毎月開催し、心身の安定や楽しみの広がりに取り組んでいる。						
⑥・本市主催の「NUKUMORI PLUSプロジェクトに参加し、小倉城しろテラスでのテストマーケティングで利用者が制作したイラストマグネットが選出されたり、小倉クリスマスマーケットや北九州市ホテル協会のレンタルアート企画で利用者のアート作品が選ばれる等、取材や紙面掲載されることで利用者の自信につながり、意欲の向上につながっている。						
2 効率性の向上等に関する取組み	15		9			
(1) 経費の低減等						
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	15	3	9			
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
【光熱水費】 (単位：千円)						
年度	【参考】R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	19,800	18,950	19,000	20,449	18,850	25,363
決算	22,163	20,373	22,464	20,894	21,006	20,889
①・光熱水費や日常使用する備品等の節約意識を職員間で共有するなど、積極的な経費削減に取り組んでおり、利用者の体調や安全に配慮しつつ、冷暖房や照明等の使用量の削減に努めている。						
・経費の低減目標として、「事務費・事業費－3%削減」を目標としており、電力に関しては地元エネルギー供給会社から需給している。						
(2) 収入の増加						
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	—		—		—	
[評価の理由、要因・原因分析]						
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるため、収入増加の工夫の余地がない。						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	35				24	

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況				
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。				
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。	1	5	4	1 2
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。				
【評価の理由、要因・原因分析】 ①・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。 ②・「zoom」等を利用したオンライン研修に職員が参加し、職員の資質向上を目指している。また、強度行動障害に関する専門的知識を養うため、強度行動障害支援者養成研修の積極的な受講を目指している。 ③・利用者の社会参加と就労意欲の向上を目的に、地域イベントへの参加や製品販売を通じた交流を積極的に推進した。 ・近隣の町内会や福祉施設で「福祉の郷地区町内応援協力会」を結成しており、協働して福祉の郷3町内8施設合同避難訓練を実施する等、防災面の連携が図っている。 ・地域の公共交通機関であるバス定期便の縮小や削減により買い物や通院が困難になった方を対象に、地域の市民センター等と連携して、「コミュニティバス」を運行（毎月8～10回、延べ896名利用）しており、地域貢献・交流、共生社会の実現に努めている。 ・社会的養護の子どもたちの自立に対する支援として、近隣の児童養護施設の生徒（高校生）に対し、貯蓄援助（卒業後の生活費としての貯蓄）と社会人としての姿勢を学ばせる場として、期間限定で雇用契約を結び、施設内外の清掃に従事いただいている。施設間の距離も近く「近くて安心できる就労場所」として、通勤面での安全配慮等にも対応できている。 ・門司活まつりやショッピングモールでの買い物、カラオケ外出などを実施し、日々の生活の充実や生きがいに努めている。				
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など				
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。				
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。				
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。	2	0	3	1 2
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていた				

か。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】 ①②・利用者の個人情報保護、衛生管理及び事故防止等について、マニュアルを整備するとともに、職員の意識向上を図っている。 ②・人権尊重の視点に立ち施設職員倫理綱領や職員行動規範に基づいた支援を職員全体に周知徹底し、支援内容を共有している。 ・施設入所支援について、重度の方も在籍しており、利用者の障害を理解した上で本人の意思を確認するとともに、利用者の特性に応じてコミュニケーションカードやジェスチャー等を用いて視覚的な支援を行うことで、利用者が混乱することなく落ち着いて過ごせるよう意思疎通の支援に取り組んでいる。 ⑤⑥・毎月の支援会議や毎朝の引継ぎを通して等においてヒヤリハットや事故報告の共有を行うとともに、ケース検討やグループ討議による危険予知トレーニングを定期的に実施することで再発防止を図っている。 ⑥・夜間想定避難訓練を年1回及び入所者においては自主避難訓練を毎月1回実施しているほか、近隣施設との合同消防訓練に参加している。 ・災害時手厚いケアが必要となるような援護者を福祉施設に優先的に受け入れる「福祉避難所」として、非常備蓄品の整備に取り組んでいる。 ⑦・感染症対策マニュアルによる施設内の感染予防、利用者の健康管理に努めるとともに、看護師と管理栄養士が連携し、利用者の体調管理や疾病予防に取り組んでいる。			

【総合評価】

合計得点	73	評価ランク	B
【評価の理由】 ・事業計画に沿って、入所施設と通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたきめ細かいサービス提供に努めるとともに、利用者の満足度も高く、障害福祉サービス事業所の管理運営者として高く評価できる。 ・特に、施設入所支援については、重度の方も在籍しており、利用者の障害を理解した上で本人の意思を確認するとともに、利用者の特性に応じてコミュニケーションカードやジェスチャー等を用いて視覚的な支援を行うことで、利用者が混乱することなく落ち着いて過ごせるよう意思疎通の支援に取り組んでいる点は、評価できる。 ・生活介護について、リサイクル空き缶プレス、季節に応じた作品作り等の創作活動や園芸・収穫体験に加え、ミニクッキングや買い物体験、レジャーガイドを実施するなど、センターに来所する楽しみや日中活動の充実に繋げている。 ・利用者の社会参加と就労意欲向上を目的に行ってきた制作活動では、これまでのハンドメイド製品から利用者の個性を生かした「アート雑貨」への転換を図り、地域のイベント参加や製品販売を通じた交流を積極的に推進している。 ・就労継続支援B型事業所について、白野江植物公園や門司赤煉瓦倶楽部などの地域の企			

業等から花壇管理の業務を委託されている。農園芸においては、野菜や花の苗の生産への継続的な取り組み、スーパー等への販路拡大などを行い、作業の確保及び工賃確保に努めている。

- ・公共バスの縮小や削減により買い物や通院等が困難になった方を対象にコミュニティバスの運行による支援を実施しているほか、社会的養護の子どもたちの自立支援として、近隣の児童養護施設の生徒（高校生）を貯蓄援助（卒園後の生活費としての貯蓄）と社会人としての姿勢を学ばせる場として、期間限定で雇用契約を結ぶなど、社会貢献に努めている。

〔北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見〕

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。